

公益社団法人 広島市シルバー人材センター

令和4年度



事務局だより 11月号

10月15日(土)「シルバーの日」 各地でボランティア活動を実施しました



●基町中央公園東側等清掃・チラシ配布(本部)

会員21名と事務局職員でボランティア清掃と普及啓発活動を行いました。

9時40分に本部事務所を出発し、火ばさみでゴミを拾いながら、基町アパートや中央公園の横を歩いてクレドビル前まで歩きました。

その後、そごう広島店の周辺で、道行く人へ「シルバー人材センターです。よろしくお願いします。」とこやかに声掛けしながら、チラシ入りティッシュを配付しました。皆様が熱心に配付していただいたおかげで、1,300個のティッシュを配り、市民の方に大いにPRすることができました。

参加された会員の皆様、ご協力ありがとうございました。来年も多数のご参加をお待ちしています。

(小畑業務第二係長)



●安佐動物公園剪定作業(北支部)

広島市安佐動物公園において、ボランティア活動を行いました。

8時30分に集合し、園長さんからの挨拶と激励を受け、作業に取りかかりました。21名の参加者が二手に分かれ、駐車場のソテツや入場門付近から左の植込みの剪定作業を行いました。

ソテツのすぐ横に駐車している車に傷をつけないよう、また園内の樹木では足場等に注意しながら作業を行い、無事故で作業を終ることができました。事務局職員も剪定ゴミの運搬を手伝い、汗を流しました。

園の職員さんにも好評で、「来年も来てください。」との声を頂戴しました。参加された会員の皆様、誠にありがとうございました。

(曲淵北支部長)



●JR 海田市駅清掃・チラシ配布(安芸出張所)

海田市シルバー人材センターと共同で、JR海田市駅前広場周辺のボランティア清掃と普及啓発活動を行いました。

令和元年度から始めたこの活動も、今年で3回目となり、当センターから22名、海田市から55名の会員の参加がありました。

午前9時30分にひまわり大橋で、当センターの小林事務局次長と海田町の角谷理事長が挨拶を行った後、駅の南口と北口、ひまわり大橋周辺でゴミ拾いを行うとともに、海田市と共同で作成した啓発チラシとグッズを配付しました。

参加者の皆様が熱心に配っていただいたおかげで、多くの市民・町民の方にシルバー人材センターのPRができました。

会員の皆様には、多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

(江川安芸出張所長)



●JR 五日市駅清掃・チラシ配布(佐伯出張所)

JR五日市駅において、ボランティア清掃と普及啓発活動を行いました。

10時に19名の会員が駅南口広場に集合し、実施方法や道路に出ないなど注意事項の説明を行った後、南口と北口に分かれて、シルバー人材センターの幟を設営し、軍手とゴミ袋を持って駅前広場のゴミを拾いました。

清掃終了後、通りかかった人にシルバー人材センターのPRをしながら、チラシ入りティッシュ1,000個を配付しました。

参加者の皆様が熱心に配っていただいたおかげで、市民の方にも十分PRすることができ、有意義な啓発活動を行うことができました。

会員の皆様には、多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

(谷中佐伯出張所長)



会員部会「農園育成事業」

サツマイモ収穫

10月14日(金)、安芸区の「中野ふれあい農園」において、広島市立中野小学校の2年生児童とともに、サツマイモの収穫を行いました。

今年は夏の雨不足などのため、例年よりサツマイモの生育が遅れており心配をしていましたが、子どもたちや先生、シルバー会員の皆様のご協力のおかげで、大きく立派なサツマイモを収穫することができました。

子どもたちは、初めて育てた大きなサツマイモを掘り出すたびに笑顔と喜びの音が溢れ、それを見守るシルバー会員の微笑みもあり、半年間の苦労が報われる1日となりました。



(5月の植え付け)



(10月の収穫の様子)



てごサポートサービス(てごサポ)説明会

10月12日(火)・13日(水)に既存会員向けのてごサポ説明会を、18日(火)・19日(水)に市民向け入会説明会と併せて、てごサポ説明会を開催しました。

多くの方に参加していただき、現在では150名を超える方々が「てごサポ会員」として登録してくださっています。

てごサポは、日常生活のちょっとした困りごとをワンコイン(500円)でお手伝いするサービスです。より多くの方々に登録いただき、会員の皆様と一緒に、この事業を大きく育てていきたいと思いをします。

てごサポ会員への登録はいつでも受け付けています。ご興味のある方は、最寄りの事務所までご連絡ください。



10月12日(水) 会員向け説明会



「てごサポ会員」に登録するには・・・

常時登録できます

お電話いただければ、関係資料をお送りします。

☎ 082 (223) 1156 企画係 上田・小川まで

- 資料をご覧になり、「てごサポ会員」に登録いただける場合は、同封の「てごサポ会員登録票」を提出してください。(郵送、FAX可)
- 当センター会員以外の方は、入会手続きが必要となりますので、次のものをご用意のうえ、来所してください。

- ① 写真(最近撮影したもの 3cm×2.5cm)
- ② 年会費 1,800円(10月1日以降は初年度に限り900円)

自分の都合のつくときに、できる内容でOK!

入会説明会

10月20日(木)、21日(金)、24日(月)、25日(火)、26日(水)、27日(木)及び11月2日(水)に本部、矢野公民館、船越公民館、佐伯区役所、瀬野公民館、西区民文化センター、安佐南区民文化センターの7か所で開催しました。全体で39名の方が参加され、当日8名の方に入会していただきました。



会員拡大のために、ご協力をお願いします

10月27日(木) 西区民文化センター

シルバー人材センターへの入会動機で最も多いのが、「友人、知人からの紹介」で、会員一人ひとりが広告塔としてPRしていくことがとても重要です。

お知り合いで、センターでの働き方に興味がある方に、会員への登録についてぜひご紹介ください。

なお、入会受付は、随時各事務所でも行っておりますので、お近くの事務所にお立ち寄りください。

会議開催報告

理事会専門部会 会員部会

10月25日(火)、会員部会を開催しました。今回の会議では、会員研修見学会、健康増進事業、農園育成事業、会員作品展の実施及び図書コーナーの整備について協議していただきました。

会員研修見学会と健康増進事業「ボウリング大会」については、新型コロナウイルス感染対策を徹底して実施することになりました。

こうした行事を通して、会員相互の交流や情報交換又は健康増進の機会を提供していきます。



会員研修見学会
(尾道市シルバー人材センター観光ガイドと巡る小寺巡り)



健康増進事業 (ボウリング大会)

傷害事故、賠償事故の発生状況

(各年度10月末現在)

区分	令和4年度	令和3年度	差
傷害事故	13件	16件	△3件
賠償事故	21件	11件	10件
計	34件	27件	7件

安全はすべてにおいて優先する



令和4年10月末現在、傷害事故は前年度同時期に比べて3件減少している一方、賠償事故は10件増加しています。

賠償事故21件の内訳は、飛散による損壊が8件、器具・用具の接触による損壊が5件、倒したりぶつかったりしたことによる損壊が5件、落下による損壊・その他が3件です。

業種では、草刈り、除草、剪定での事故が多く発生しています。今年度の安全スローガンは「手を抜くな 慣れた作業も 慎重に」です。このスローガンのとおり、どんな作業も慎重に行い、今後の事故発生ゼロを目指しましょう。



傷害事故13件の内訳は、転倒が最も多く5件（就業中2件、就業途上3件）、交通事故が2件、その他（熱中症）が2件、転落・切れ・挟まれ・動作の反動が各1件です。

毎年、傷害事故のうち転倒事故が約4割を占めています。これからの季節、気温が低くなり、寒さで筋肉も思うように動かなくなるため転倒事故が増えます。就業時に限らず、普段の生活においても、転倒しないよう注意しましょう。



介護研修会を開催しました

10月31日（月）及び11月1日（火）に、本部4階研修室において、株式会社B・O・H 福祉開発事業部 HAPPY CARE スクールの介護福祉士 長谷藤珠実先生をお招きして、介護研修会を開催し、計22名の会員が受講されました。

前半は介護の基本として、高齢者の方と関わる際の心構えや、家庭に入る上での注意点、コミュニケーション方法など、在宅介護の経験を踏まえた具体的なテクニックを教えてくださいました。

後半の「車いす・歩行の介助」では、実際に車いすの操作や杖歩行の介助体験をしていただきました。「車いすの介助」では声掛けのポイントや操作の注意点を、「杖歩行の介助」では対象者はもちろん、介助者の身体の負担にならないような介助のコツを教えてくださいました。

受講された皆様は、積極的に質問をするなど、明るい雰囲気でも気あいあいとした研修会となりました。

今後の就業や生活での様々な場面で、今回の研修で学んだことをぜひ役立てていただきたいと思います。

丁寧に分かりやすい！



専門的なお話が聞けて
知識が深まりました。



介護される側の気持ちに寄り
添うことが大事なんですね。



可部公民館まつりに参加しました（北支部）

11月6日（日）、安佐北区総合福祉センターで開催された可部公民館まつりに参加しました。

シルバー人材センターの会員募集チラシを配布するとともに、「てごサポートサービス」のPRや祇園ソーイング班による小物販売も行いました。

可部公民館まつり全体の来場者は、例年に比べ多くなかったようですが、シルバー人材センターのブースは、衣類、帽子、テーブルセンターなどが大人気で、多くの方にご購入いただき、予想を超える売上額になりました。

この生地は正絹なので
肌触りがいいです。



このテーブルセンターは、着物の帯から出来ているんですね。シルバー人材センターには、こんな仕事もあるんですね。

交流カフェ

日時： 2022年12月1日（木）

9：30～11：30

場所： 広島市シルバー人材センター
本部4階 会議室
(広島市中区西白島町 23-9)

ソーシャルディスタンスに配慮して実施します。
ぜひお越しください！

高齢者いきいき活動ポイント対象事業（1ポイント）

いきいき

切り絵同好会も同時開催！！

健康 ぷらざ

禁煙は愛

— 加熱式もタバコはタバコ —

日本禁煙学会 理事長 作田 学

企画：
日本医師会

No. 559

加熱式タバコも危険

加熱式タバコにも紙巻きタバコと同等のニコチンが入っており、依存症が続きます。ニコチンはがん、心臓病、呼吸器疾患、免疫低下などをもたらす万病のもとです。

加熱式タバコの煙が見えにくい、臭いが少ないからといっても、受動喫煙は起こります。そして、煙が見えにくく、臭いもわずかという性格上、避けることが困難です。

有害物質の種類によっては加熱式タバコのエアロゾルのほうが標準的な紙巻きタバコ煙よりも濃度が高いものも多いのです。しかも、紙巻きタバコ煙には含まれていない種類の有害化学物質も存在することが明らかにされています。加熱式タバコの吸い殻も非常に危険です。

タバコがもたらす影響

妊娠中に加熱式タバコを吸うと、妊娠高血圧と低体重出生のリスクが高まります。

また、「喫煙者は新型コロナに罹患すると重症化しやすい」「喫煙者は新型コロナのワクチンを打っても抗体ができにくい」「加熱式タバコと紙巻きタバコの両方を吸っていると、肺疾患になりやすい」というデータもあります。

禁煙は愛

加熱式タバコの危険性については、日本禁煙学会のホームページで紹介しています。

「日本禁煙学会 加熱式タバコ 危険」で検索してください。

禁煙は、身体への愛、周囲への愛、子どもへの愛でもあります。



『禁煙は愛 2021年版』を差し上げます!

日本医師会が制作した小冊子『禁煙は愛 2021年版』では、たばこの害について分かりやすく説明しています。ご希望の方は、①郵便番号・住所、②氏名、③電話番号、④必要部数を明記の上、下記までメール(件名は「禁煙小冊子希望」)またはFAXでお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先 日本医師会広報課 kouhou@po.med.or.jp FAX:03-3942-7036



日本医師会ホームページでは、健康ぷらざのバックナンバーがご覧いただけます。



日医

バーコード読み取り機能付き
携帯電話もしくはスマートフォン
でご利用になれます。